

にじのかけはし

令和4年9月 第11号
上海日本人学校虹橋校
片桐 里香

希望が丘小学校のみなさん、二ーハオ！そろそろ前期のまとめに入っているころでしょうか。きっと音楽発表会に向けて、それぞれの学年での練習にも熱が入っていることでしょう。天水田の稲も刈り取られたと思いますが、今年の収穫はどうでしたか？

上海はようやく気温が下がり、さわやかな風が吹くようになりました。虹橋校の子どもたちも、ようやく登校することができ、元気に運動場をかけまわっています。やっぱり、友だちと一緒に勉強したり遊んだりできるのは、とっても幸せですね。私の学級の子供たちは「毎日学校でもいいよ！」と言っていました（笑）。

今回は、中国の祝日についてお話したいと思います。実は今、「国慶節」というお休み中なのです！日本の祝日と比べてみてくださいね♪



1 中国の大切な祝日 その1 「国慶節」

中国には7つの祝日があります。お休みの日は11日間と、日本（16日間）に比べると、少し少ないのですが、祝日を含めて7連休になるお休みが2つあります。その一つが「国慶節」です。

「国慶節」は、日本でいう建国記念日のことです。中国の建国記念日は10月1日。今年で建国73周年です。この日は、北京の天安門広場ではパレードが行われたり、中国全土でお祝いのイベントが行われたりします。テレビ放送も各地のお祝いイベントを放送する特別番組が組まれます。

一方で、市民の生活は10月1日から1週間のゴールデンウィークとなります。この連休は、中国人にとって旅行に出かける大チャンス！季節もさわやかですから、たくさんの人たちが行楽地に出かけます。また、観光地には中国全土から人が集まるわけですから、どこもものすごい混雑ぶりです。駅もバス停も乗り物も観光地も人・人・人。とにかく、たくさんの人たちが移動し、連休を楽しみます。

上海もちろん、例年全土からたくさんの観光客が集まっていますが、さすがにロックダウンをした今年は少ないようです。その分、上海に住んでいる人たちが市内の観光地をゆっくりと楽しむ様子が見られます。



我が家の前のかざり。大きな赤い提灯が門にかざられ、お祭りモードです。中国国旗は虹橋路という大きな通りの電柱全てにかざられています。

2 中国の大切な祝日 その2 「春節」

中国の人々にとって、一番大切な祝日が「春節」。中国のお正月です。お正月が大切な祝日であるのは、日本も中国も同じですね。ただし、昨年の上海だよりでも紹介しましたが、中国のお正月は1月1日ではありません。なんと、元旦が毎年変わるのです。なぜなら、中国では旧暦のカレンダーを使って行事を祝う習慣が今も多く残っているからです。

日本は西暦のカレンダーを使っていますが、中国では、主な年中行事は旧暦のカレンダーで行われています。旧暦とは、お月様カレンダーのことです。日本で使われている西暦は、お日様カレンダー。太陽の動きをもとにしてつくられています。これに対して、旧暦のお月様カレンダーは、月の動きをもとにつくられています。旧暦は、農歴ともいわれ、農作物を作るうえでとても大切な暦なのだそうです。中国では、この旧暦でお正月を迎えるため、毎年日が変わるのです。実は、アジアの国々や沖縄では、旧暦でお祝いをする国が多いのですよ。

家族みんなが集まって、ごちそうを食べながらにぎやかに過ごすのが春節です。中国では、自分の家から離れて大都市に働きに行く人がとても多いのですが、春節には、一年間のお仕事をがんばった人々が、家族に会うためにたくさんのお土産をもって自分のふるさとに帰ります。この期間も民族大移動！みんながふるさとに帰るため、お店はお休みとなり、上海の街から人がいなくなります。ふるさとで家族と過ごし、「また今年一年がんばろう！」という気持ちで上海に戻ってくるのだそうですよ。



街もお店も“新年快樂”！

3 中国の祝日いろいろ

紹介した国慶節と春節は中国の2大連休ですが、そのほかの祝日は3連休となります。

元旦……1月1日。日本と同じお正月も3日間のお休みになります。ただし、普通のお休み。新年らしいことはほとんどしません。

清明節…毎年4月5日ごろにあります。日本でいうお盆のような日です。たくさんの人が先祖のお墓参りに行き、お墓の前で一家だんらんを楽しみます。

労働節…毎年5月1日に行われる、労働者のお祭りです。世界では「メイデー」と呼ばれている日がお休みとなります。

端午節…旧暦の5月5日にあたる日です。この日にはちまきを食べます。日本では、新暦の5月5日が「子どもの日」ですが、中国では、みんなの無病息災を祈る日です。

中秋節…旧暦の8月15日にあたる日です。日本でも「中秋の名月」の日として、親しまれていますね。中国では、一家だんらんを象徴する丸い食べ物（月餅やスイカなど）を食べてお月見をします。

実はこのほかに、特定の人がお休みになる祝日もあります。婦女節（3月8日。女性だけ半日休日）、青年節（5月4日。14歳以上の青年が半日休日）、児童節（6月1日。14歳以下の子どもたち向けのイベントが開催されます）、教師節（9月10日。先生を敬う日。お休みではありません…）などです。日本にはない祝日もあっておもしろいですね。

両国の祝日を見ると、中国の影響を受けているものがたくさんあることに気がきます。文字や文化、たくさんものを中国から学び、日本独自のものとして発展させてきた歴史に目を向けてみると、新たな発見がありそうですね。

それではまた。再見！

